

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和3年7月9日（金）

### 2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアP（P1及びP2）
- ・瓦礫類一時保管エリアE

### 3 確認項目

瓦礫類一時保管エリアP排水枡における全ベータ値上昇事象への対応状況

### 4 確認結果の概要

昨日に引き続き、瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）P排水枡の放射能分析において、6月29日に採取した検体の全ベータ値が上昇していることが確認された事象への対応状況を確認した。（図1）（前回確認：7月8日）

東京電力によると、全ベータ値上昇の原因は特定されていないが、汚染源を特定するために一時保管エリアPの調査を実施したところ、ノッチタンクを設置している地表面において、1cm線量当量率（ガンマ）に比べて70 $\mu$ m線量当量率（ベータ+ガンマ）が有意に高いことが確認された。また、ノッチタンクのハッチ部蓋の一部外れにより、タンク内及び天板上に水がたまっていることも確認されており、当溜まり水からも全ベータが検出された\*。

- ・昨日、当該ノッチタンク全体にシートで養生がされていることを確認している。本日も同箇所を確認したが、シートの破損、まくれ等の異常はなかった。（写真1）
- ・一時保管エリアP1・P2に隣接している一時保管エリアE1の状況を確認したところ、内容物不明コンテナの外観目視点検・線量測定が行われていた。確認した範囲では、コンテナ内容物の流出につながる恐れのある腐食、変形は見られなかった。（写真2）
- ・サーモグラフィを使ってコンテナ内の水位の有無を確認する作業が実施されており、運搬中に水が漏えいする可能性があるものについては、蓋の隙間を発泡剤で閉止していた。（写真3）

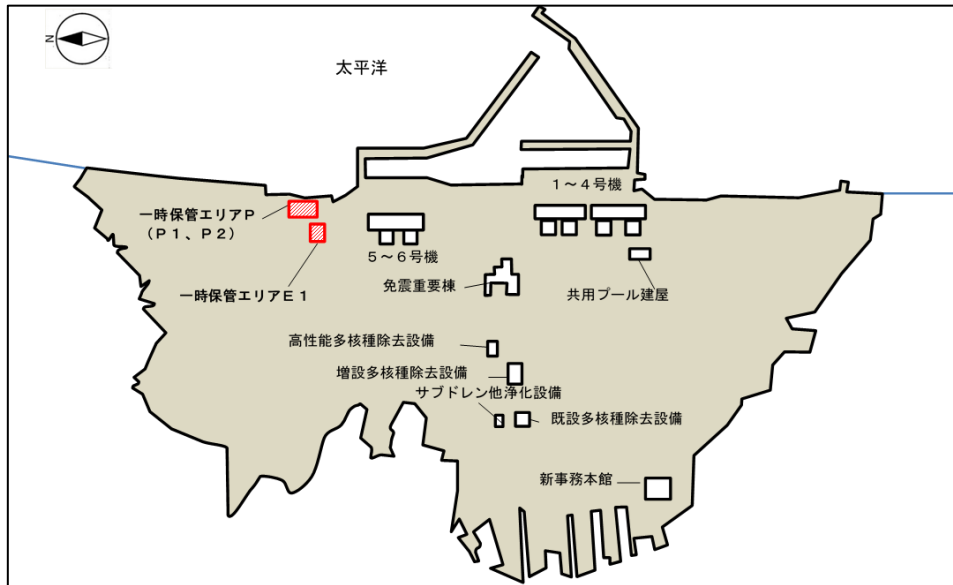
※ 東京電力による測定結果

#### 【ノッチタンク（北）タンク内の水】

全ベータ:79,000Bq/L、セシウム137:検出限界値未満（検出限界値6.5Bq/L）、セシウム134:検出限界値未満（検出限界値6.3Bq/L）

#### 【ノッチタンク（南）タンク内の水】

全ベータ:33,000Bq/L、セシウム137:検出限界値未満（検出限界値5.6Bq/L）、セシウム134:検出限界値未満（検出限界値5.3Bq/L）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
コンテナ（ノッチタンク）の養生の  
状況（前回：7月8日撮影）



(写真1-2)  
同左  
（今回：7月9日撮影）



(写真2-1)  
一時保管エリアE1の状況



(写真 2 - 2)  
コンテナの表面の線量当量率測定



(写真 3)  
コンテナ蓋隙間の閉止状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。